(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公表特許公報(A)

# (11)特許出願公表番号 特表平7-509662

(43)公表日 平成7年(1995)10月26日

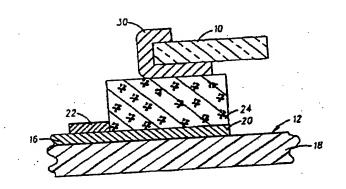
## 第2部門第2区分

(51) Int.Cl.* B 2 3 K 35/22 35/26	識別記号 庁内整理番号 310 A 9043-4E 310 A 9043-4E C 9043-4E	FI
H05K 3/34	5 1 2 C 8718-4E	審查請求 未請求 予備審查請求 未請求(全 6 頁)
(21)出頭番号 (86) (22)出頭日 (85)翻訳文提出日 (86)国際出頭番号 (87)国際公開日 (31)優先権主張郵号 (32)優先日 (33)優先権主張国 (81)指定国 DK, ES, FR,	特願平7-500608 平成6年(1994)4月5日 平成7年(1995)1月30日 PCT/US94/03730 WO94/27777 平成6年(1994)12月8日 069,640 1993年6月1日 米国(US) EP(AT. BE. CH. DE. GB. GR. IE, IT, LU, M	(71)出願人 モトローラ・インコーボレイテッド アメリカ合衆国イリノイ州シャンパーグ、 イースト・アルゴンクイン・ロード1303 (72)発明者 メルトン、シンシア アメリカ合衆国イリノイ州、ボリングブル ック、ボニー・ブレー・レーン821 (72)発明者 ペッケンパウ、ウィリアム アメリカ合衆国イリノイ州バリントン、ピ スタ・レーン78 (72)発明者 ミラー、デニス アメリカ合衆国イリノイ州バリントン、サウス・ショア・コート1449 (74)代理人 弁理士 大貫 適介 (外1名)

すずピスマス半四ペーストと、このペーストを利用して、高温特性の改良された接続を形成する (54) 【発明の名称】 方法

### (57)【要約】

微小電子パッケージ用の半田接続(第2図の32)を 形成するのに利用される種類の半山ペースト(第1図の 24)は、組成的に異なる金属粉末の混合物によって構 成される。このペーストは、すずビスマス半田合金から 作られる第1金風粉末によって構成される。このペース トはまた、金もしくは銀を含有する第2金四粉末によっ て構成される。リフロー中、この金もしくは銀がすずビ スマス半田と合金を作って、溶融部分を増大させ、製品 接続の機械特性を強化する。



```
(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
```

- (12)【公報種別】公開特許公報(A)
- (川)【公開番号】特開平7-509662
- (43)【公開日】平成7年(1995)10月26日
- (54) 【発明の名称】すずビスマス半田ペーストと、このペーストを利用して、高温特性の改良された接続を形成する方法
- (51)【国際特許分類第5版】

B23K 35/22 310

R23K 35/26 310

HO5K 3/34 512

【審査請求】\*

【全頁数】6

- (21)【出願番号】特願平7-500608
- (22) 【出願日】平成5年(1993)1月1日
- (71)【出願人】

【識別番号】999999999

【氏名又は名称】モトローラ・インコーポレイテッド

【住所又は居所】\*

(72)【発明者】

【氏名】\*

【住所又は居所】\*

[37] 【要約】本公報は電子出願前の出願データであるため要約のデータは記録されません。

#### 雨末の氣圏

1. 第1金属粉末と原で金属粉末との混合物によって構成される半田ペーストであって、前記第1金属粉末は、主にすずおよびピスマスから走る半田合金から作られ、前記第2金属粉末は、金および銀によって構成されるグループから選択された、前配半出合金内に溶融してその設勝退度を上昇させるのに有効な量、存在する第三金属によって構成されることを特徴とする単田ペースト。

2. 前記半羽合会が、約30から70重量パーセントが ビスマスで、柱りの大半がすずによって構成されること、 また前記第三金馬の粉末が、前記金馬粉末の絵重量を新に その約1、0から2、2重数パーセントの量。存在するこ とを特徴とする、前水項1記載の半田ペースト。

3、 前記半日合金が、48から68重量パーセントのビスマスおよびすずによって実質的に課立されることを特徴とする。周末項2記載の半田ペースト。

4、単日ペーストであって、

黄発可能なピピタル。

お記載発可能なビビクル内に分散され、48から68重 重パーセントのビスマスおよびすずによって実質的に様葉 される半出合金から作られる第1金属器末、および、

関記課発可能ピピクル内に分散され、異質的に食から作 られる第2金属を末であって、概記第2金属於末は、物配

ことを特徴とする請求項5記載の方法。

7. 財配半田合金が、48から68重量パーセントのビスマスおよびすずによって実質的に構成されることを特徴とする、請求項6配数の方法。

8. 電気部材をプリント目路基板に付着させる単田復紀 を形成する方法であって、

半田ペーストの付着局を、プリント図路準度の優合パッドの上に造布する政際であって、前記ペーストは、底発可能なピヒクル内に分数された第1会属粉末および第2会属粉末によって構成され、前記第1会属粉末は、約30から70重量パーセントのピスマスおよびすずから成る半田合金から作られ、前記第2会属粉末は実質的に金から成る政際。

世紀都好の単田溝れ往接合面を、前記プリント国路基板上の前記付着地に接するガモ原型して、アッセンブリを形成する及時。

常記アッセンブリを加熱して、前記ピヒクルを素及させ、 第22年配合金を溶験して、近状や田を形成する段階であっ て、旅記第2金質資本は、前記収状半田の中に溶験する役

期記アッセンブリを冷却して、前記紅状半田を盛化して、 森記部材を前記プリント国路基準と接合する半出級線を形成する政策であって、前記半田禄籍は、主にすずピスマス 手出合金から成り、約1、0から2、2番番パーセントの 金属粉末の碧重量を落にその約1,0から2,2重量パーセントの量、存在する第2金属粉末。

によって構成されることを特徴とする単的ペースト。

5. 第1半田澤れ性接合面および第2半田調れ性特合面を接合する半田接続を形成する方法であって。

解記第1日よび第2接合面を、半田ペーストに接する形で配配して、アッセンブリを形成する政府であって、京記年田ペーストは、第1日よび第2金属沿水の混合物によって構成され、前記第1金属沿来は、主にすず日よびピスマスから成る平田合金から作られ、前記第2金属沿来は、金田よび銀によって構成されるダルーブから選択された第三金属によって構成される狡猾。

前記アッセンブリを、半田合金を移動して放牧半田を形成し、前記第三金属を前記後状半日内に溶験するのに有効な温度に加熱する設備。および、

前記アッセンブリを冷却して、前記第1 および第2 港会 面と優合された。前記第三金属を前記半田接続の前記般勝 温度を上昇させるのに有効な量、合有する半日合金から成 る半田接続を形成する段階。

によって構成されることを特置とする方法。

6. 南記半田合金が、約30か670重量パーセントの ピスマスと、残りの大半がすずによって構成されること。 また解記単三金属が、前記半田様観刊で約1、0から2、 2度量パーセントの過度を生じるのに有効な量、存在する

仓を含有する股階。

によって構成されることを特徴とする方法。

9. 前記知勘収降が、前記アッセンブリを約140℃以上で加熱する段階によって構成されることを特徴とする。 請求項8記載の方法』

10. 前記加熱段階が、前記アッセンブリを約160℃ 以上で加熱する設備によって構成されることを特徴とする、 関水項8 記載の方法。

#### **79 161**

すずピスマス手出ペーストと、このペーストを利用して、 高温特性の改良された接続を形成する方法

#### 技等分野

本発明は、高級特性が致化されたナザビスマス半田復復を形成する半田ペーストに関する。さらに押しくは、ナザビスマス合金の砂木と、製品接続の高温特性を強化するのに有効な邦三会属(会もしくは温が望ましい)の粉末との進合物によって構成される半田ペーストに関する。

#### 骨 景 技 街

半田ペーストは、たとえば、部はモブリント国路を扱などに表面実装するために、半田接続を形成するのに用いられる。遺常のペーストは、牛田合金から作られ粉末によって構成され、この骨不はフラックスを含有する変状ビビケル内に分散される。ビビクルは、消耗性の有機パインダによって構成され、粉末を、自立的に形状を保持する逆族内(selt-sustaining mass following application)に対定できる。複様を形成するため、基版は、第1の発音面を構成する半田濡れ性の接合パッドを特徴とする。何様

田合食から作られる第1食業智家によって構成される。このペーストはさらに第2の金銭粉家によって構成され、 東2の母末は、酸解温度を上昇させ、すずピスマス合金の 機械特性を向上させるのに有効な第三金属から成る。金も しくは銀が第三金属として望ましい。具体的には、1,0 から2,2の重量パーセントの全を添加すると、その結果 生じる接続の所望の高温特性を大道に向上させるのに有効 であることが判別した。

区面の簡単な説明

に、路材は、第2の半田瀬れ性接合面(何:接点)を含む。 学田ペーストは、たとよば、スクリーン印刷によって複合 パッドに塗率されるのに有効であり、その後、部材は、 第2便合面が半田ペーストの付着層(deposit)に接する 形で配置される。ついてアッセンブリが加熱されてどとク ルを 気免させ、半田合金を溶融しリフローする。半田合金 は、冷却後直ちに再び歴化して、接合面と接合して接続を 売成する。半田接続は部材を基故に類唱的に付着させるの みならず、基底上の接合パッドと、移材の接点とを電気的 に接続して、加工目的の部材との胸でな波が流れるように する。

通常の年田は、すず鉛合金から作られる。すずピスマス 合金から成る無給年田合金を作ることが提案されているが、 すずピズマス合金は、微小電子パッケージがその使用中に 選遇する種類の見温時に、良好な機械特性を示さない傾向 がある。具体的には、このような合金は、100でくらい 我い温度でも、許容不能なほど柔らかくなる傾向があり、 通常のすが半田と比較して、破原温度が相対的に低い。

#### 発明の開示

本分別は、組織的に異なる金属の大の混合物を含む半日 ベーストを意図し、この登末は、合金を作って半田接続を 形成する。したがって、このベーストは、すずビスマス半

添付国を参照して本発明を詳しく説明する。 :・

第1回は、本発明による中田ペーストを用いた、ブリント 図路基度と電気55.材のアッセンブリの感覚図である。

第2回は、半田をリフローして半田猛線を形成した後の、 第1回のアッセンブリの断面調である。

男 3 気は、 放射温度を、 すずビスマスキ田合金中の 会議 度との相関関係で示したグラフである。 および、

第4回は、本発明による半日ペーストから形成される金 さ有のすずピスマス合意を含む、いくつかの半田合金について、スープ硬さを、温度との相関関係で示したグラフで 「ある。

#### 発明を実施するための最及の形態

好我な実施的において、本名明による中田ペーストは、 無給半日接続を形成して、電気部材をブリント回路無板上 にマクントするのに用いられる。このペーストの適切な製 法は、すずピスマス半田の粉末を含有する商乗的な半田ペ ーストに、金粉を添加することである。好適なすずピスマ ス半田の粉末は、約60重量パーセントがピスマス、残り がすずから成る近共益(near cutectic)介金によって構 成され、不純物としてり、1パーセント未満の鉛を含有す るのが望ましい。このすずピスマス 末は-200から +325メッシュの大きさで、ビヒクル内に分散される。ビヒクルは、高波点のアルコールおよびグリコール溶剤から成り、また白色俗やに(white rosia)化合物によって構成されるフラックスを含有する。このペーストはまた、分末を結着性被覆層内に受合するのに有効な消耗性の有短パインダ(エナル・セルロース化合物が返する)を含む。適切なペーストは、indalloy 281という商様名でアメリカのladium Corporationから商業的に入手可能である。金粉が、すずビスマス平田ペーストに添加されて、本発明によるペーストを作る。この金粉は、約5から10ミクロンの寸法を有する粒子を特徴とした。金の添加は、金属粉末の検査量を基に計算して約1.0から2.2重量パーセントが望ましい。

金を(約1、0から2、2重量パーセントの量が姿ましい)

そのため、本発明は、蒸発可能なビビクル内に分散され た金属粉末の混合物を含む半用ペーストを提供する。この 成合物は土に、オザとピスマスの半田合金から成る船末か ら作がれる。一枚に、約30から70重量パーセントのビ スマスを含有するすず合金は、融解温度が、エポキシ・ペ ースのプリント回路基板のような従来の基根材料上でリマ ローを可能にするほど低く、実質的に鉛を含まない高純度 で利用可能である。好適な合金は、約48から68重量パ ーセントのピスマスを含む。また、半田松末に最初から他 の合金物質を少量(通常4%未満)含有して、機械特性を 強化することもできる。このペーストはさらに、第三金書 を合有する第2金属砂木の少量の添加によって構成され、 すずピスマス半田の機能特性を強化する。すずピスマス半 田と合金を作るのに返した第三金属には、金および質が含 まれ、金が葉ましい。好遊な実施的の第2金異称末は、絶 枠形態の第三金属から戻るが、第三金属は、すずもしくは ピスマスとの合金を含め、難らって合金にしたらのでもよ い。加熱して半田ペーストをリフローする間、すずピスマ スー末が走初に溶破してリフローする。本発明の大きな特 点は、すずピスマス半田のリフローが比較的低温で始まる ことであり、この温度は、投税を形成する全合有合金の融 解退皮よりも大幅に低い。これによって、リフローの初期 半田合金が広がるのをプロックし、これによりリフロー中、半田合金を接合パッド20に限定する。半田ペーストの付着層24は、ナデビスマス半田の粉末と金粉の場合物によって構成され、スクリーン印刷によって集合パッド20に被布される。部は10は、パラジウム銀合金から作られる様点30によって構成され、この様点が、接続の符合面を構成する。半田ペーストの付着(deposition)24後、部材10は、接点30が付着層24に接する形で、ブリント四路基根12と共に組み立てられる。

政防中、接合面の潜れ性が促進され、この遅れ性は強い半 田提合の形成に不可欠である。上記事項にも拘らず、第三 金属が最終的に復租中に溶離して、すずおよびピスマスと 合金を作り、高温特性が強化された接続を形成する。

# 3 回は、融解温度を、 5 8 重量パーセントがビスマス、残りがすずからほこ合金中の金濃度との福岡関係で示したグラフである。固に示すように、 1 重要パーセントのように低い金の濃度で、合金の般解温度が大幅に上昇する。 選度が約 2 . 2 重量パーセントを超えると、 触解温度は約 2 1 0 でを超える。 選常の加工法では、 符級を加速し、 サイクル・タイムを減らすために、 半田は融解温度より 2 0 でから 4 0 で高い湿度でりフローされる。 したがって、 全を約 2 . 2 重量パーセント以上含有する合金は、 高いリフロー 温度が必要となり、 これが、 電子パッケージで通常見られる 2 . 2 電機に は で するの内側の 金属相(inner immtalliculation)の形成が顕著に なり、 接続の機械特性を低下させる傾向がある。 製品提及中の経過度は、 約 1 . 0 から 2 . 2 の重量パーセントの金である。

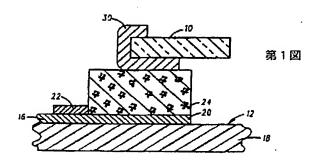
第5回は、メーブ使さ(グラム/ミクロン)を進度との 相関関係で示したグラフである。由離Aは、金約2、3 重量パーセント、ピスマス58重量パーセント、残りがすずから成る合金の新しい硬さを示し、この合金は本是別により製造されるペーストによって作られる。比較目的のため、

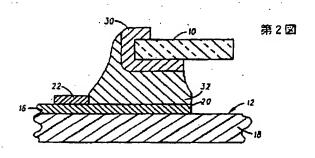
第3回および第4回は、すずピスマス合金への金の添加に関するが、すずピスマス合金における 同様の 破解温度の 上昇は、鍵を添加しても速点されると考えられる。したがって、健は、すずとピ人マスの合金によって形成される接続の高速特性を強化するのに、適切に代用できる。

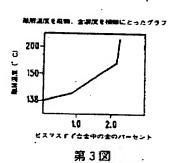
図に余す実施別では、本発明による企の透加を含有するように作られた半日ペーストを用いて、個別部はををプリトの野番板にマウントした。リフロー中、半田ペーストリの会異を常は合着して彼状半日を形成し、役を回と、部のはなけったの様を面とを高らし、冷却後、このである事を持合面とを高らし、冷却を全面にしている。例であるニッケルもしてい、接合面は、半田橋にはであるニッケルもし

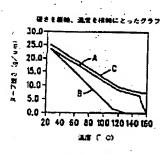
くはその他の任意の金属からも、強い半田接合の形成に通する形で作られる。また、本発明は、プリント国際基何もしくはセラミック・チップ・キャリヤなどの基板と、急替回路チップ上に配置される接合パッドとの間に、半田パンプ接及を形成するのにも容易に対応できる。

本是明は一定の実施例に関して説明してきたが、上記の 説明に限定することを意図するものではなく、以下に示す 周末の範囲に記載される範囲にとどめまったものます。









第4図

		'S #	押束	经告	PCT/LEDWESTED				
	MICATION OF SUR DR 1974				and 17C				
make a particular transfer and the second									
FIGLOS SEASCHED									
U.S. (22925), 16929  Department come and other than distribute the department to the ordered that mark department also are builded as the fields represent									
									Common data have executed deriver the constrained provide return of data basis and, whose postparatio, dates between execut
C. IMPC	AMERICA CERTAINE	RESERVED BY.	THAPE FOR						
				، <del>ده اه</del> . حصوب	-	Relative to obsess the			
A	US.A. 4,173,	468 (GAL	ILT) 6 NO	VEMBER 19	79 See entre	1-10			
	document. US.A. 4,797.	328 (BQE	HIM! 10 J	EF YRAUNA	200 cutte	1-10			
Y.P	document. US.A, 5,229	.070 (MI	ELTOND Z	0 JULY 19	33 See entire	1-10			
	PREMIUSOS								
ĺ									
, .									
	-		No Property	ı. c. 🗍 20					
ئىل		-		<u>-</u>					
				* =					
T.		===		<u>-</u>					
4									
17	(14 school (mary team)				4 0/ 00	-			
1	to acres constants			JUI	1 9 1994	-			
Name	an maring colleges of	Les IBANIS		Children of the Park	O. NOSEPILEND	al-ol-			
=	OF 100 100-1	179		A Tanana	. (RD) 168-5-8	•			